


2005年9月期事業戦略説明

2004年12月

株式会社 篠崎屋 2926

<http://www.shinozakiya.com>

第1ステージビジネスサマリー

「いいものを安く」を実現するためにビジネスモデルを製造卸から製造小売へ転換

買う人・売る人・作る人が対等でなければ継続できないモデル

「いいもの」を実現するために「天然にがりの絹ごし豆腐」を開発し、業界初の量産化に成功

「安く」を実現するために店舗展開はフランチャイズチェーンとし、開店コスト・人件費負担増の少ない酒飯店等を対象に展開

(株)ベンチャー・リンクとの提携により出店スピードを加速化し、製造小売モデルのインフラ確立を目指す

2004年9月期 P L

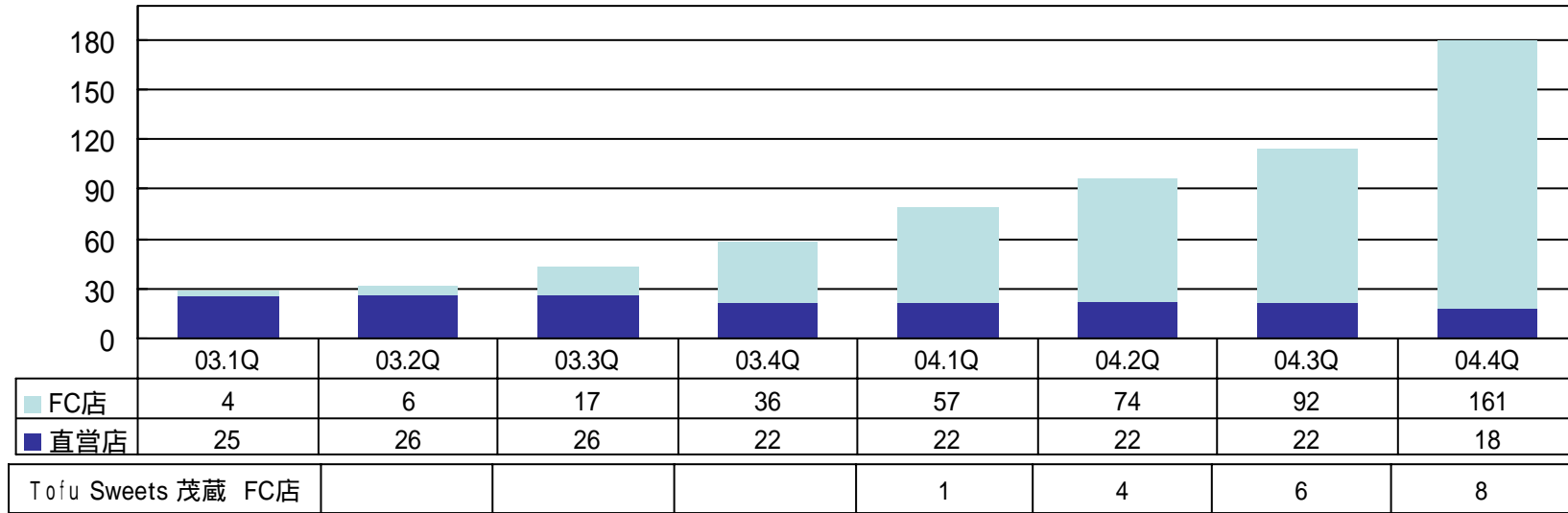
単位:千円		04/9期	百分比	前年同期実績	前年同期比
売	上 高	2,181,844	100.0%	1,909,665	114.3%
	小 売 事 業	785,531	36.0%	555,074	141.5%
	外 食 事 業	1,205,738	55.3%	1,254,911	96.1%
	卸 事 業	190,574	8.7%	99,679	191.2%
売	上 原 価	1,220,614	55.9%	999,652	122.1%
売	上 総 利 益	961,230	44.1%	910,013	105.6%
販	管 費	791,543	36.3%	832,257	95.1%
	人 件 費	357,777	16.4%	387,007	92.4%
	地 代 家 賃	91,932	4.2%	115,829	79.4%
	運 賃	72,568	3.3%	53,300	136.2%
	減 価 償 却 費	33,581	1.5%	41,575	80.8%
営	業 利 益	169,686	7.8%	77,756	218.2%
経	常 利 益	188,872	8.7%	124,604	151.6%
当	期 純 利 益	238,735	10.9%	136,268	175.2%

セグメント別実績

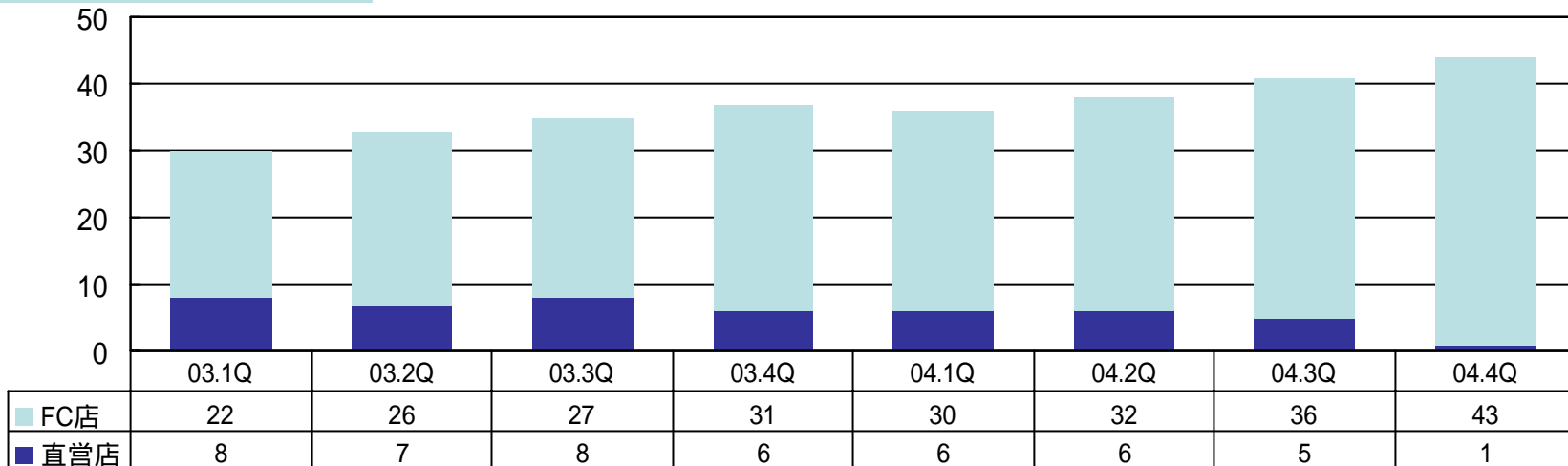
単位: 千円	03/9期	04/9期	前年同期比	備考
小売事業	555,074	785,531	141.5%	
直営店売上	430,269	389,106	90.4%	期末4店舗閉鎖
FC卸売上高	77,341	326,331	421.9%	期末125店舗純増
FC工事収入	25,313	6,709	26.5%	(株)三代目茂蔵で集約他は「ちょい飲」
FC加盟金収入	16,500	47,800	289.7%	
FCその他収入	5,650	15,583	275.8%	チラシ代他
外食事業	1,254,911	1,205,738	96.1%	
直営店売上	559,253	397,331	71.0%	前々期2店舗及び前期5店舗FC転換 (期末4店舗のれんわけ)
FC卸売上高	303,730	352,746	116.1%	今期1店舗で減収要因
FC工事収入	191,418	209,554	109.5%	期末12店舗純増
FC加盟金収入	44,500	51,000	114.6%	今期以降はマンダラハウスで集約
FCその他収入	156,010	195,105	125.1%	今期は減収要因
				ロイヤルティ他

店舗出店推移

小売店舗推移



外食店舗推移



2004年9月期店舗出店状況

【工場直売所】

2004年9月末現在

	店舗数	直営店	FC店	内兼業FC店
北海道・東北	0	0	0	0
関東	142	18	124	112
甲信越・北陸	6	0	6	6
東海	4	0	4	4
関西	27	0	27	27
中国	0	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0	0
合計	179	18	161	149



【外食店舗】

	店舗数	直営店	FC店
北海道・東北	2	0	2
関東	34	1	33
甲信越・北陸	2	0	2
東海	1	0	1
関西	0	0	0
中国	3	0	3
九州・沖縄	2	0	2
合計	44	1	43



【Tofu Sweets】

	店舗数	直営店	FC店
北海道・東北	0	0	0
関東	4	0	4
甲信越・北陸	0	0	0
東海	0	0	0
関西	1	0	1
中国	1	0	1
九州・沖縄	2	0	2
合計	8	0	8



中長期ビジネス・ビジョン

篠崎屋グループ

製造小売ビジネスモデル
(第1ステージ)

- 「三代目茂蔵工場直売所」をベースに売上高影響力600億円～900億円を目指す。

製造卸ビジネスモデル
(第2ステージ)

- 外食・流通を対象に「植物性タンパク質」をベースとした商品を提供し、売上高影響力600億円～900億円を目指す。

売上高影響力1,200億円～1,800億円を具現化し、国内大豆加工食品マーケット約6,000億円のシェア20%～30%の影響力を実現する。

価格支配力を確保し、消費者に「いいものを安く」提供する。

グローバル展開し、「植物性タンパク質」をキーワードに新たなマーケットを創造する。

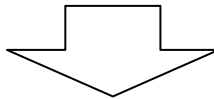
第2ステージ基本戦略

価格支配力を確保し、消費者に「いいものを安く」提供する。

- 第1ステージはベンチャー・リンクとの提携で全国展開への基盤構築の可能性が高まってきたため、05/9期より第2ステージの製造卸モデルを構築するための準備を開始する。

第2ステージ基本戦略

- 更なるシェア拡大を目指し製造卸モデルをグループ内で内製化する。
 - 目標として製造卸の「篠崎屋グループ」ブランドでのマーケットシェア10～15%
- 製造小売と合わせて全国シェア20%～30%獲得し、価格支配力持つことにより消費者に「いいものを安く」提供できるビジネスモデルの基盤を第2ステージまでに完了する。



- 資本提携を前提としたアライアンス等による業務用卸先の開拓
 - いいもののベースとなっている当社の原材料供給先を開拓
 - 他社外食チェーンとの関係強化
- 新たなブランドの構築
 - M&A・ファンド等を利用し、食品関連企業をグループ化し対象企業のブランドで流通シェアの拡大を図る。

今期基本戦略

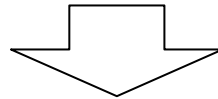
製造小売インフラ構築の加速化

ベンチャー・リンクとの連携強化、商品開発力の強化

アライアンス戦略の強化

- ・商品開発 焼津水産化学工業(株)、(株)応微研、・・・
- ・製造関連 (株)鈴木物産、白石興産(株)、・・・
- ・店舗開発等 (株)ベンチャー・リンク、(株)マンダラハウス、・・・
- ・企業再生 ジェイ・ブリッジ(株)、・・・
- ・

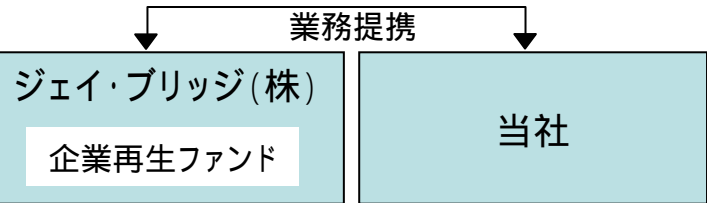
大豆加工食品マーケットでの影響力のアップ 製造卸モデルの構築準備
製造インフラ、販売インフラのグループ化(M&A、ファンド等)



商品開発、商品製造、業態開発、事業開発に経営資源を注力し事業拡大を加速化

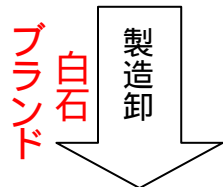
グループ化スキームイメージ

製造グループ 【白石興産のケース】

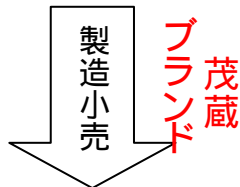


【出資条件】
当社
好業績企業
ファンド等
業績低迷企業

新白石興産(受け皿会社)



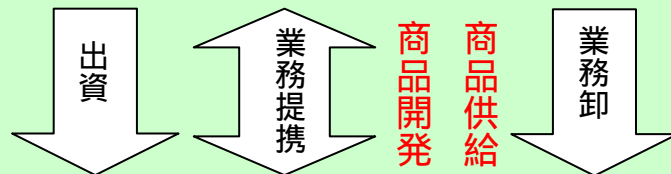
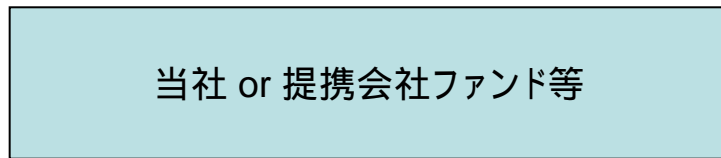
既存取引先
GMS・CVS等



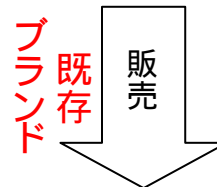
当社販売ネットワーク
小売店舗・外食店舗

企業再生 株式買取 企業価値拡大

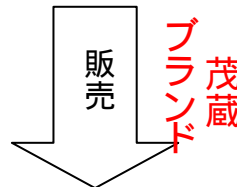
販売グループ



販売ネットワーク会社(外食・小売会社)

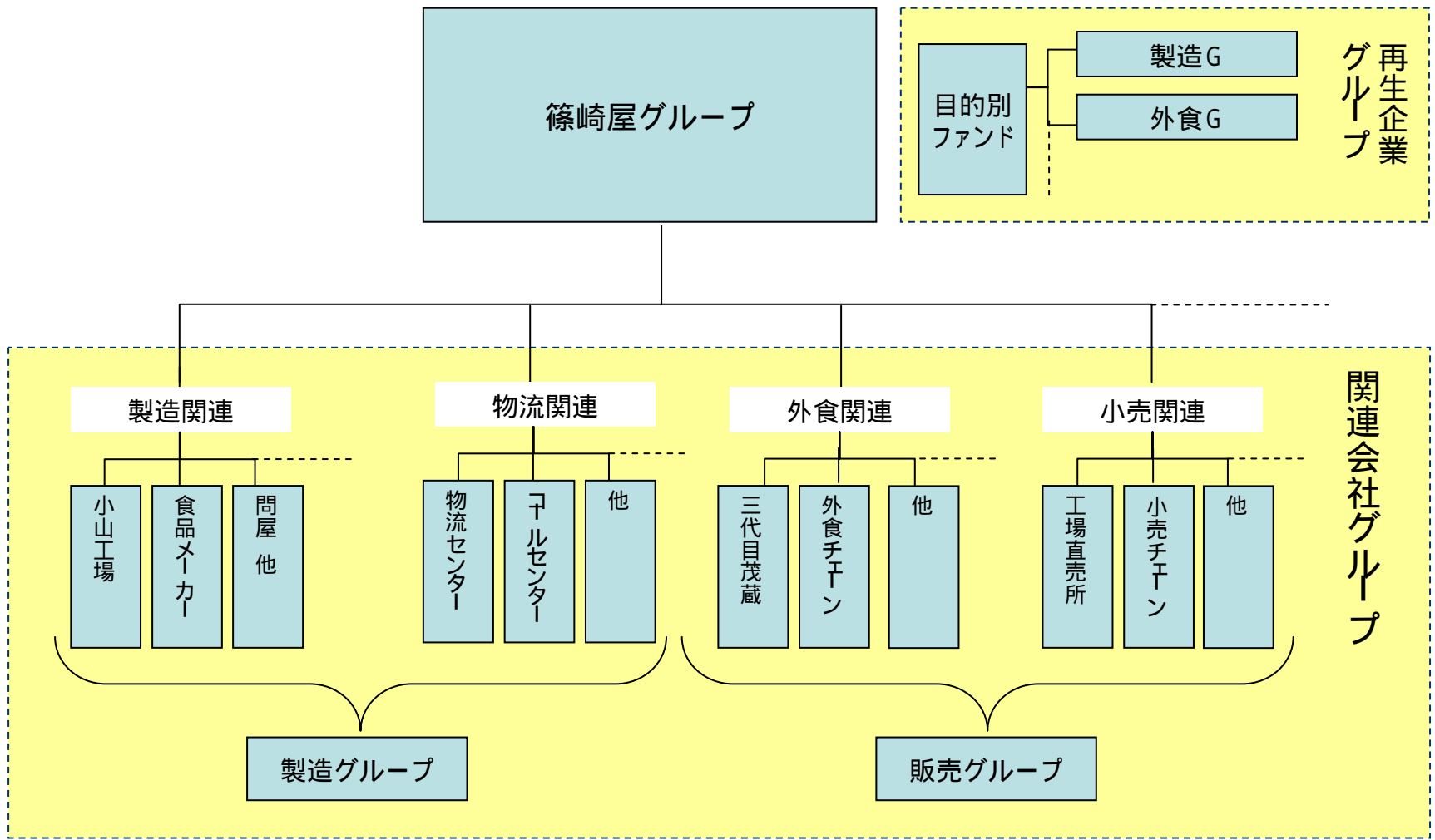


消費者



事業拡大 企業価値拡大

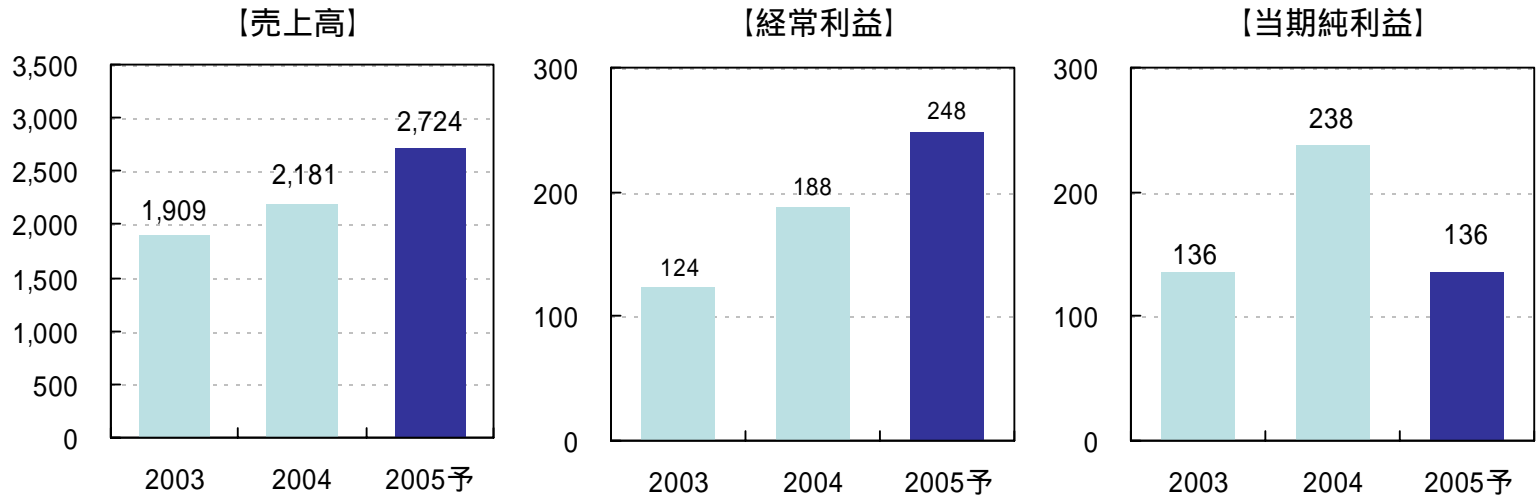
グループイメージ



2005年9月期業績予想

単位:百万円	05年9月中間期 業績予想	05年9月期 業績予想	前年実績比 増減率	店舗出店 前提条件	
売上高	1,007	2,724	24.9%	小売店舗	450店舗
経常利益	35	248	31.9%	外食店舗	6店舗
当期純利益	20	136	-42.8%	Tofu Sweets	6店舗

【業績の推移】(単位:百万円)



お問合せ先

【担当者】

取締役経営企画部長
兼 管理本部長

中山 文博

TEL : 048・970・4949 FAX : 048・970・4889

E-Mail : ir@shinozakiya.com

URL : <http://www.shinozakiya.com/>

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2004年9月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

APPENDIX

製造小売ビジネスモデル

豆腐業界上位10社でマーケットシェア12%程度

地域密着中小企業が多く、販売ルートは流通への商品卸(大手ほど製造卸モデル)
大手流通が販売価格の支配力を持っており目玉商品としての取扱いが多く、
卸価格はマーケット規模の半分程度
原材料費をかけられないため良い商品供給が困難

価格支配力の確保

いいものを安く適正価格で
消費者へ提供

製造卸の大手メーカーが小売事業に参入した場合
スーパーでの販売価格 < 小売店での販売価格
消費者は小売店で購入しない
卸事業の撤退なしに小売事業参入は困難

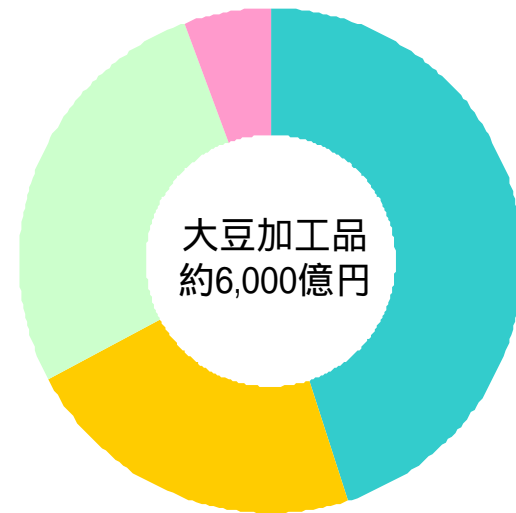
高い
参入障壁

【豆腐業界上位10社売上高】

順位	社名	地域	売上高	シェア
1	A	青森	147	2.5%
2	B	東京	110	1.8%
3	C	福岡	85	1.4%
4	D	茨城	77	1.3%
5	E	徳島	70	1.2%
6	F	群馬	68	1.1%
7	G	茨城	60	1.0%
8	H	大阪	51	0.9%
9	I	京都	43	0.7%
10	J	東京	35	0.6%

単位: 億円、出所: 豆腐2002フードジャーナル社 シェアは当社推定

【大豆加工品マーケット】

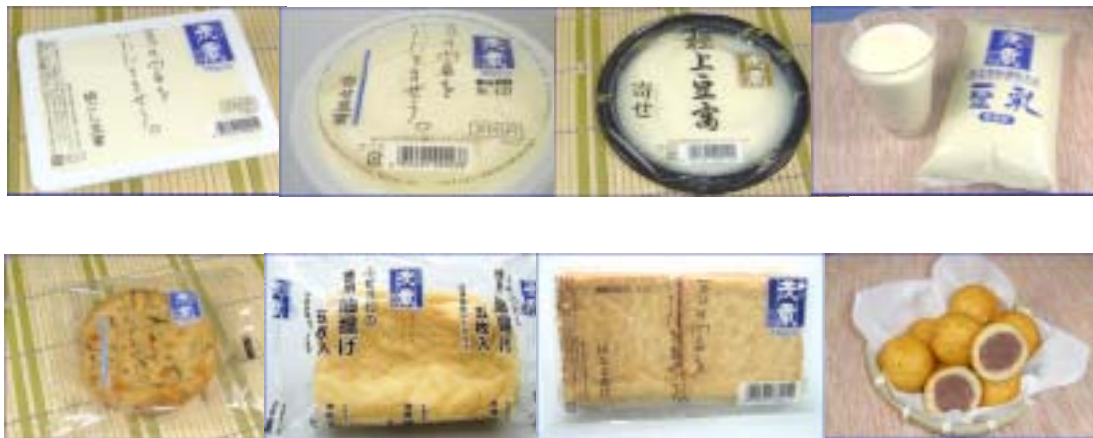


■ 豆腐
■ 納豆
■ 油揚げ・がんもどき
■ その他大豆製品

出所: 総務省家計調査

いいもの

【工場直売所販売アイテム一部】



【ナノテク大豆商品一部】



【Tofu Sweets販売アイテム一部】



植物性たんぱく質をキーワードに商品開発及び商品供給

商品開発ターゲットとなる家庭用マーケット規模(億円)

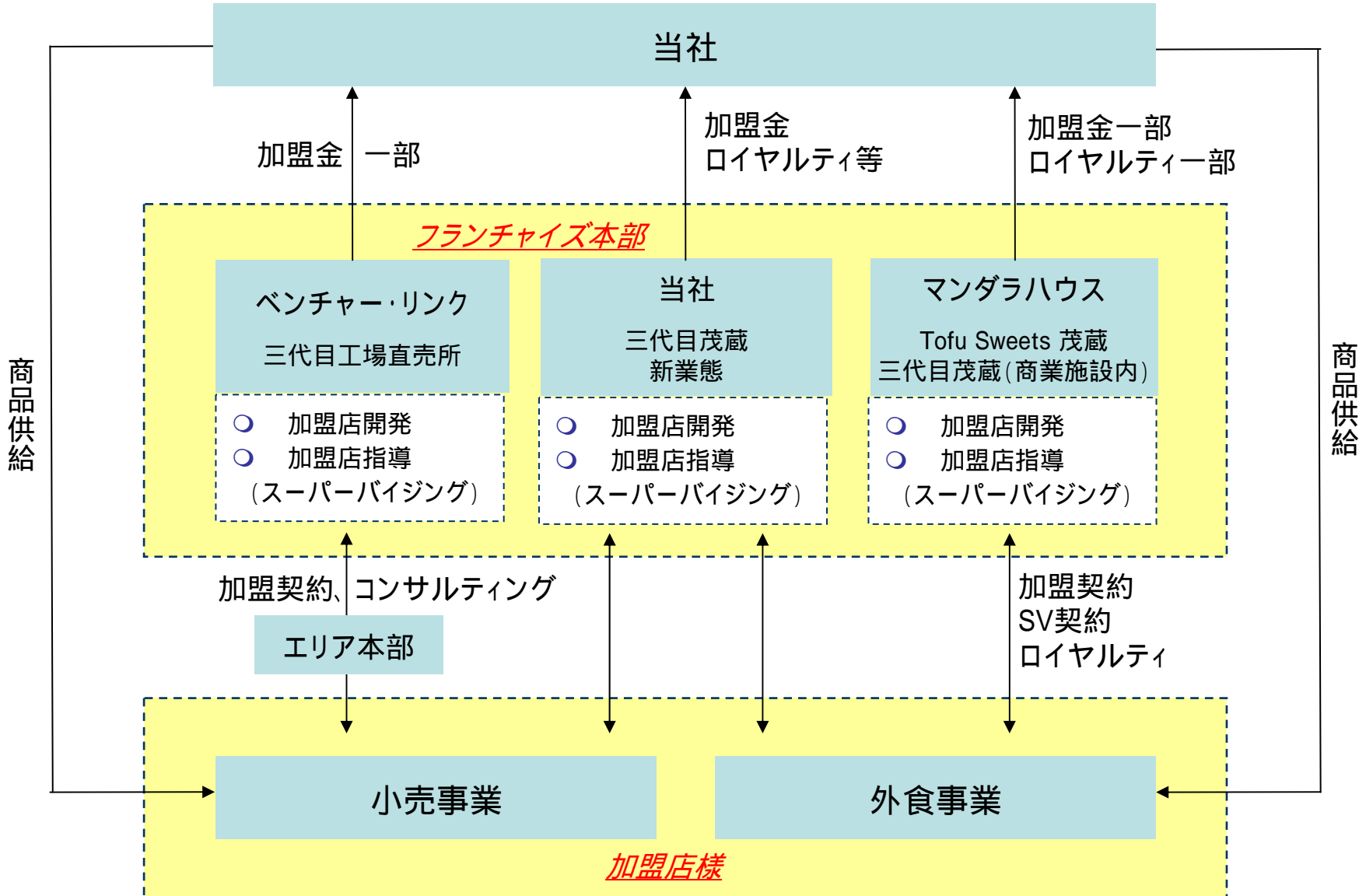
パン	10,591.9	菓子類	
めん類	7,094.2	和生菓子	381.6
牛乳	8,048.2	カステラ	384.0
乳製品		ケーキ	3,010.6
粉ミルク	384.0	ゼリー	710.2
ヨーグルト	3,455.3	プリン	627.8
大豆加工品	5,940.3	他の洋菓子	196.9
保険医療		せんべい	2,107.9
健康維持用摂取品	4,687.0	ビスケット	1,282.0
理美容用品		スナック菓子	1,594.0
化粧石けん	449.4	アイスクリーム・シャーベット	2,724.9
化粧品クリーム	1,694.3	他の菓子	905.8
化粧水	1,845.8	教養娯楽費	
乳液	695.6	ペットフード	2,336.7
合計		合計	61,148.6

マーケット参入・一部参入済

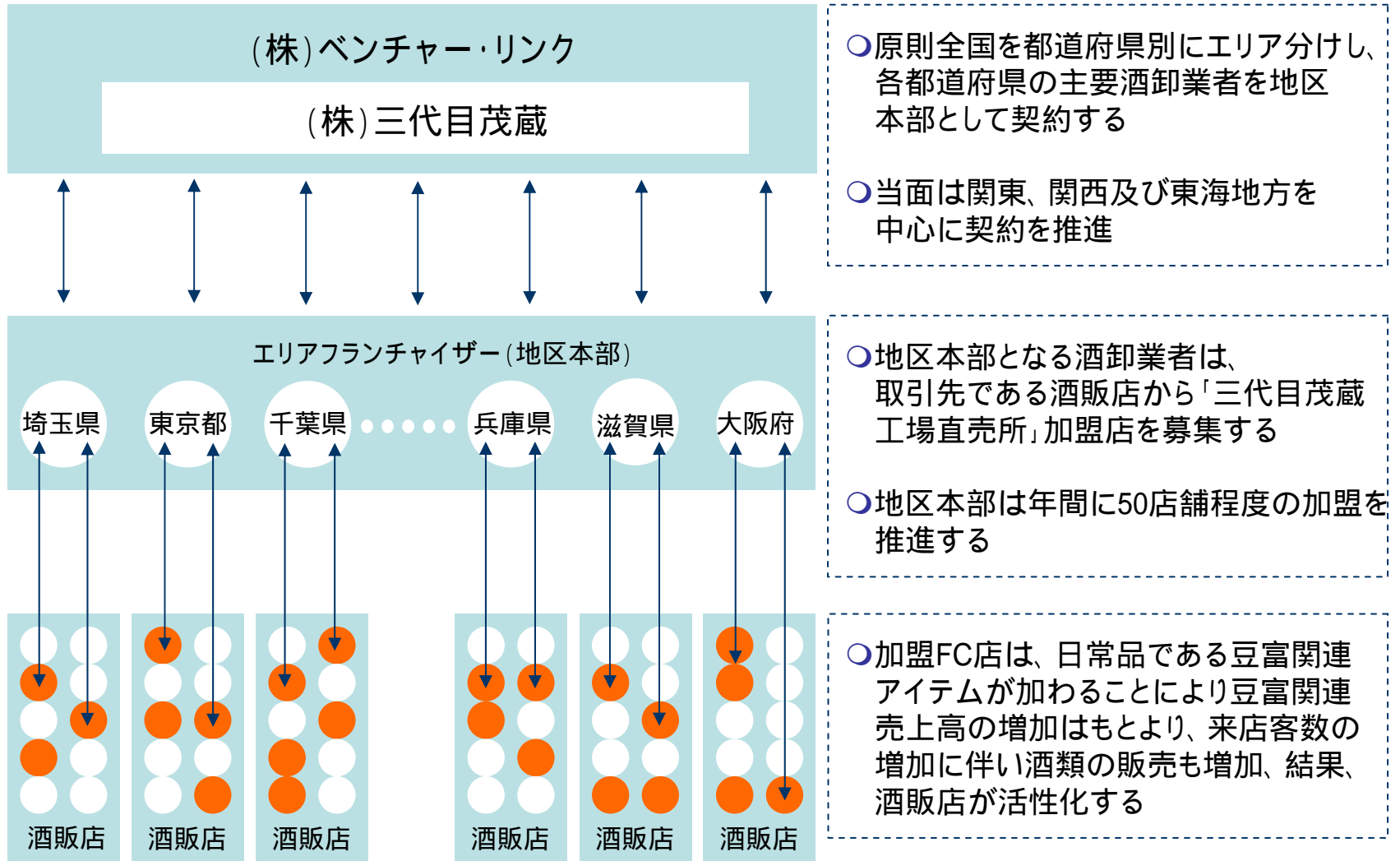
新規参入対象マーケット

*マーケット規模は総務省家計調査年報をベースに当社計算によりターゲットマーケットを推定

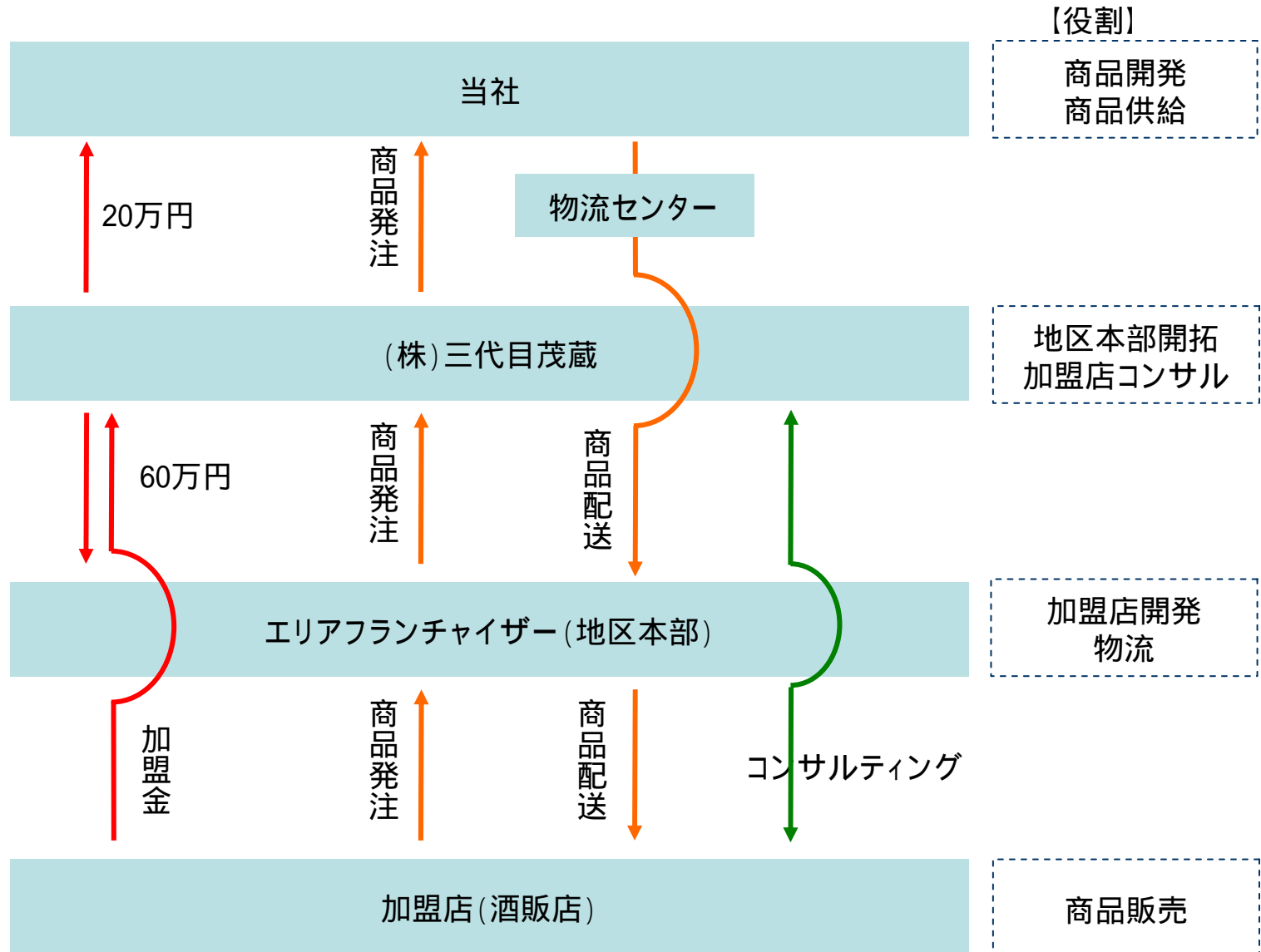
FCビジネスモデルの役割分担



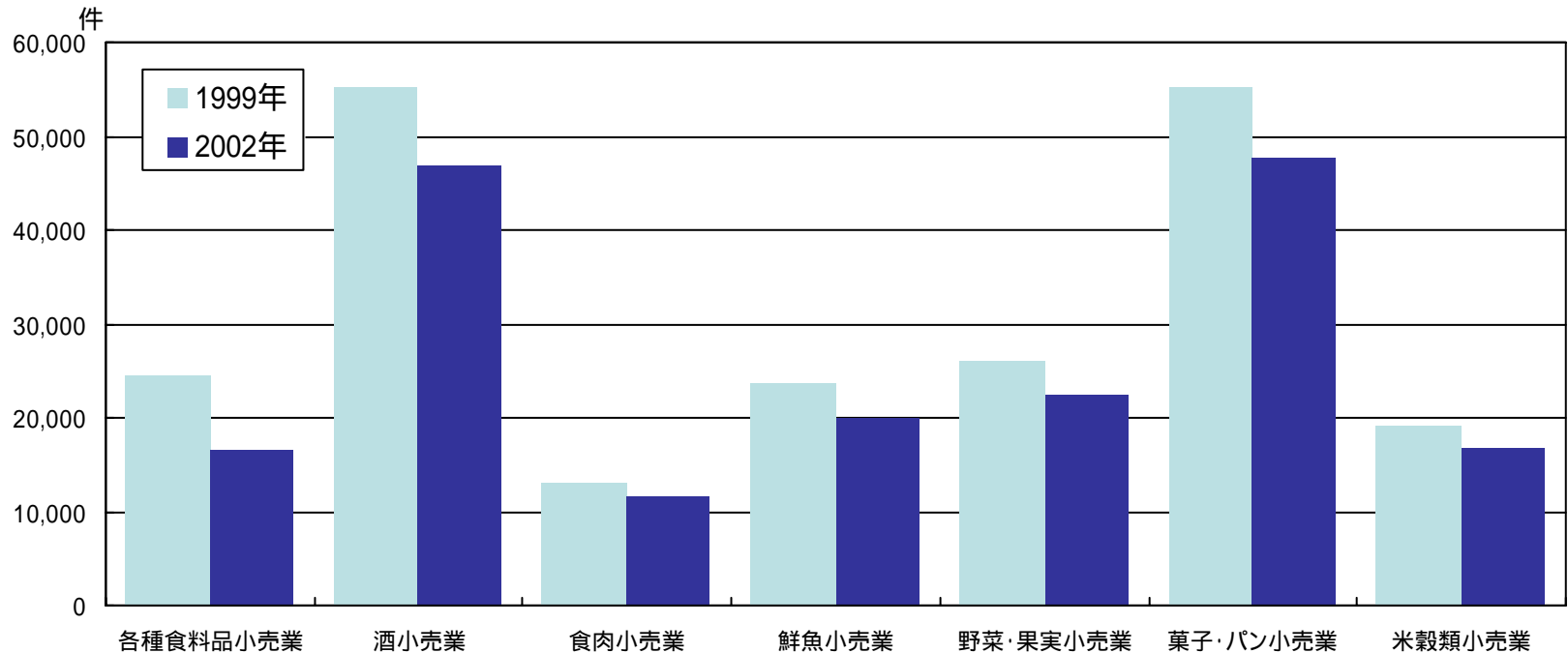
工場直売所FC加盟店開拓スキーム



工場直売所FC展開における役割分担



小売業(商店街)の現状



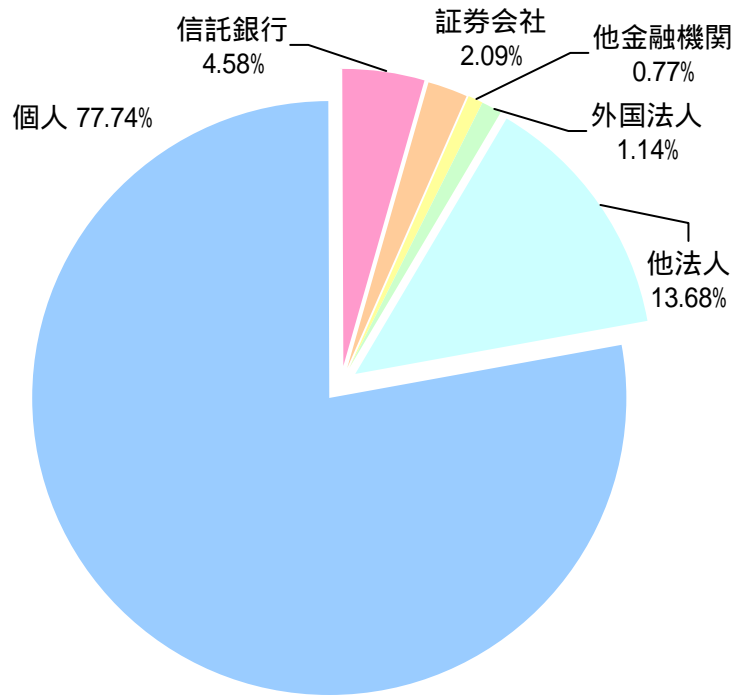
産業分類小分類	1999年			2002年			1個人事業所当り年間商品販売額(万円)		
	合計	法人	個人	合計	法人	個人	1999年	2002年	02/99(%)
各種食料品小売業	50,215	25,715	24,500	36,615	20,206	16,409	3,822	5,108	33.6%
酒小売業	77,668	22,397	55,271	65,097	18,258	46,839	3,501	3,009	-14.1%
食肉小売業	19,066	6,101	12,965	17,215	5,590	11,625	2,356	2,130	-9.6%
鮮魚小売業	29,878	6,144	23,734	25,485	5,463	20,022	2,161	2,083	-3.6%
野菜・果実小売業	34,243	8,310	25,933	29,820	7,425	22,395	2,415	1,647	-31.8%
菓子・パン小売業	88,119	32,855	55,264	76,914	29,284	47,630	1,402	1,802	28.6%
米穀類小売業	26,523	7,286	19,237	22,620	5,892	16,728	2,085	1,203	-42.3%
その他の飲食料品小売業	156,501	63,255	93,246	192,832	76,798	116,034	3,376	5,628	66.7%

出所: 経済産業省「商業統計調査」、1個人事業所当り年間商品販売額は当社でデータを加工した推定値

株主状況

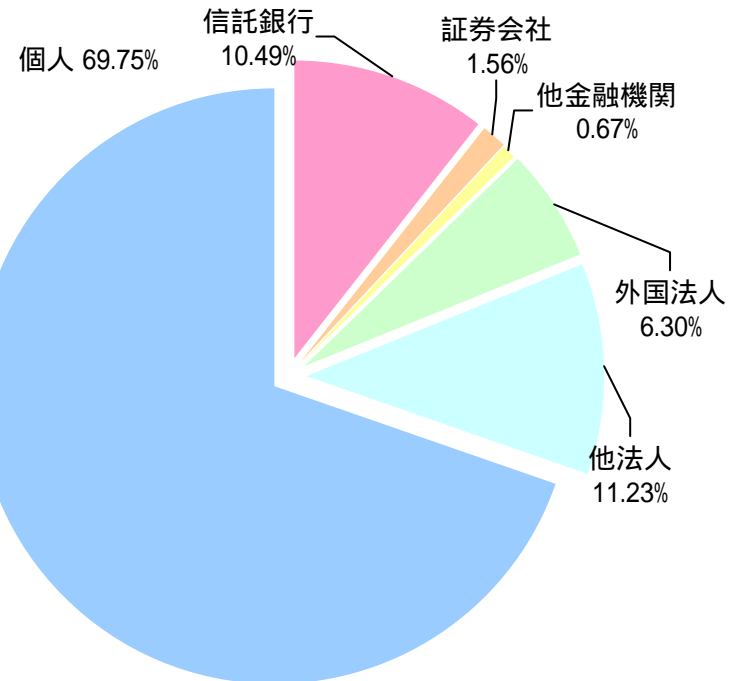
2004年9月中間期

株主数1,113名



2004年9月期

株主数2,610名



設立	1987年1月24日
代表者	代表取締役社長 樽見茂
資本金	12億8千6,500,030円
発行済株式数	111,870株
従業員数	38名

* 発行済株式数は11月19日株式分割効力発生日以降の株数

株主名(2004年9月末現在)	持株比率
樽見茂	30.16%
日本マスタートラスト信託信託口	6.13%
(株)鈴木物産	2.68%
(株)ホンダトレーディング	2.68%
(株)ユニカフェ	2.50%
モルガンスタンレー&カンパニーインターナショナルリミテッド	2.23%
樽見浩	2.05%
日興シティ信託信託口	2.01%
ドイチェバンクアーゲーロンドンピーピーノトリティクライアantz613	1.67%
みずほ証券	1.56%